



あわうみ若鮎俳句コンクール 記念講演会

近江と芭蕉

～琵琶湖に魅せられた俳聖～

《五月雨に鳩の浮巢を見に行かむ》

旅の俳諧師・松尾芭蕉。どうして膳所の義仲寺にお墓があるのか。
そこには、近江の門人たちが企てた芭蕉の争奪戦があった。
芭蕉は、今も、さざなみの湖水のほとりに眠っている……

◇日時

令和2年11月8日（日）

- ・あわうみ若鮎俳句コンクール表彰式
午後1時～午後1時25分
- ・記念講演会
午後1時30分～午後2時30分

滋賀文学会会長・フォトエッセイスト

岡本 光夫 氏



◇会場

滋賀県立図書館 大会議室

（大津市瀬田南大萱町1740-1）

JR東海道本線（琵琶湖線）「瀬田」駅下車。
帝産バスまたは近江バス
「滋賀医大」行に乗車（約10分）、
「文化ゾーン前」下車、徒歩5分。

入場無料。定員50名。事前申込制。
電話（077-523-7146）かメール
（awaumi@biwako-arts.or.jp）で
お申し込みください。
申込期間：10/24（土）～11/6（金）

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、表彰式および記念講演会は中止になる場合があります。
ご来場にあたっては、びわ湖芸術文化財団のホームページ等で事前の確認をお願いします。

※ ご来場の際はマスクをご着用ください。 ※ 発熱または風邪の症状のある方のご来場はお断りします。